

| | | | |
|-----------|------------|-------|-------|
| 講義名 | 日本史 A | | |
| 科目区分 | 教養科目 | | |
| 担当教員 | 藤原 喜美子 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 1時限 | | |
| 履修開始年次 | 1 年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 41003 |

主題と概要

テーマ：日本芸能文化史から見た日本史
 本講義の目的は、日本の歴史の中で芸能文化史に視点をおき、その特性を探ることにある。人々が神事をとりおこなってきた過程において、日本の芸能文化史にも変遷が生じてきた。そこには、その時代を生きた人々の信仰のかがちが窺える。そこで、各々の史料を具体的に取り上げ、日本の歴史の中に位置付けをしながら講義を進める。

到達目標

講義の内容を理解した上で、日本の歴史の中で継承されてきた芸能の特色を、自分の言葉で一つ説明できるようになる。

提出課題

1. 講義に関連した事柄について、中間レポートの提出を求める。レポートの詳細は、別途指示する。
2. 講義の際に毎回、感想文等の提出を課す。

評価の基準

1. 原則として、出席調査を実施する。
2. 評価は定期試験（55点）、中間レポート（30点）、平常点（15点）を総合して行う。

履修にあたっての注意・助言他

1. 講義中はノートをとること。
2. 講義中に私語をし、他人の学習の妨害をしないこと。
教室内での私語など、受講態度が好ましくない者には退室を求めることがある。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料...各時間、配布する。
 参考文献...講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. 日本史とは
日本芸能文化史をどのようにとらえるか
2. 古代芸能の形成
芸能のおこりと人々の信仰
3. 御霊会
4. やすらい祭
宮座の成立
宮座と神事
5. 田楽
御田植祭
6. 田楽
田楽の歴史
7. 猿楽
猿楽座
8. 神楽
神楽とその信仰
9. 伎楽の伝来
伎楽と舞楽
10. 念仏の流行
浄土教と人々の信仰
11. 寺院の法会
修正会の歴史
12. 寺院の法会
修正会と鬼(1)
13. 寺院の法会
修正会と鬼(2)
14. 人形操り
傀儡師と人形
15. まとめ

予習・復習

予習...講義の最後に、翌週の講義の内容を紹介する。そのテーマについて、翌週までに興味のある事柄を1つ調べる。
 復習...講義終了時、各自が、その日の講義内容の要点を確認する。

備考

現在の日本は、様々な時代の積み重ねで成り立っている。そのような多くの情報がつまった歴史の中から、神社や寺院の歴史に注目する。そして、一つの事柄を深く掘り下げて考える機会にしてもらいたいと思う。